

より良い都市環境の創造と共生

阪神高速グループでは、遮音壁の設置、舗装の改良や環境ロードプライシングの実施などを通じ、騒音の低減や大気質の改善に取り組んでいます。また、地域との連携や社会への貢献の観点から、生態系保全や景観などの周辺環境との調和にも取り組んでいます。

環境ロードプライシングの実施

国道43号・3号神戸線沿道の大気環境改善のため、2001年11月から5号湾岸線の貨物車などの料金を割り引く「環境ロードプライシング※割引」を実施しています。これにより交通転換が進み、2001年1月には31.8%だった5号湾岸線の分担率が、2024年11月には54.0% (22.2ポイント増加) となっています。

※ 沿道環境の改善を図ることを目的として、並行する道路間の料金格差で、都心部や住宅地への交通流入を抑制する手法



注) 割引率はご利用区間によって変わります。

海洋における生物多様性保全の取り組み

大阪湾岸道路西伸部沿線において、海洋生態系の育成・保全活動に取り組むプロジェクトを対象としてJBE (ジャパブルーエコノミー技術研究組合) が発行・販売する「Jブルークレジット®」の購入を通じて、水質の浄化や生物多様性の確保など、持続可能な自然再生活動に寄与しています。また、地域のNPO法人や「阪神高速 未来(あす)へのチャレンジプロジェクト」助成団体と連携して、海洋へのプラスチックごみ流入を防ぐクリーン活動に社員が参加するなど、地域の皆さまと連携した取り組みを進めています。

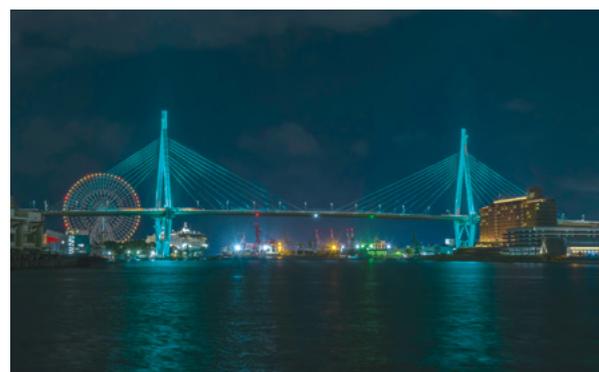


Jブルークレジット
購入証書

長大橋ライトアップによる都市の魅力向上

湾岸線の天保山大橋、港大橋、東神戸大橋では、電力使用量の少ないLED照明を使用した夜間のライトアップを行っています。また、「光のまちづくり推進委員会※」と連携した地域の取り組みも進めています。

※ 圧倒的な光景観の形成により一層の魅力と賑わいに満ちた「水と光の首都大阪」を実現するために、大阪における光のまちづくり計画を推進するために設置された官民一体の組織



天保山大橋